

授業改善書

科目名	保育内容（表現-造形）Ⅱ
担当者	前沢知子

授業の概要

実際の保育の現場を想定して、子どもの姿に寄り添いながら、表現・造形活動を進めることの理解を目指す。保育の現場で行われる季節の行事や、子どもが日常で感じる季節感を取り入れた制作を行つための下記の3つのスキルを学ぶ。

- ・子どもの表現と発達の関係について学び、子どもの制作についての基礎を理解する。
- ・保育の現場や子

授業の問題点

全体的に4以上の高評価であったと見られる。

その中で、平均に比べて数値が低かったものは、「学習態度」の「4. ノートやメモ等を取りましたか」というものであった。（評価4、平均4.27）

この理由としては、授業自体が、実技制作を行うものであったため、基本的にノートやメモの必要がなかったこと、プロジェクターを使用しての説明においては、暗い中での解説になり、メモが取りにくかったことなどがあげられる。

学生の授業満足度

授業満足度は、2つの項目とも、4.8と4.4であり、満足度は高いように思われる。全体的に振り返った評価が、比較をすると少し低かった。

授業改善の課題と方策

上記、問題点である、「学習態度」の「4. ノートやメモ等を取りましたか」については、例えば、制作過程を説明するときに、ノートやメモをとるように声が消したり、またプロジェクターを使うとき、室内の明るさを少し明るくしてノートやメモをとりやすい環境設定をすることを心がけたい。

その他

本年度初めて授業をもったこともあり、アンケートについて把握しきれておらず、対象クラス10人以上という意味がよく把握できていなかった。

そのため、アンケートを行う際、AとBに分けた時の、1クラスの人数としてカウントしたために、10名以上は一つのクラスしかなく、1クラス（4限A）しかアンケートを実施しなかった。